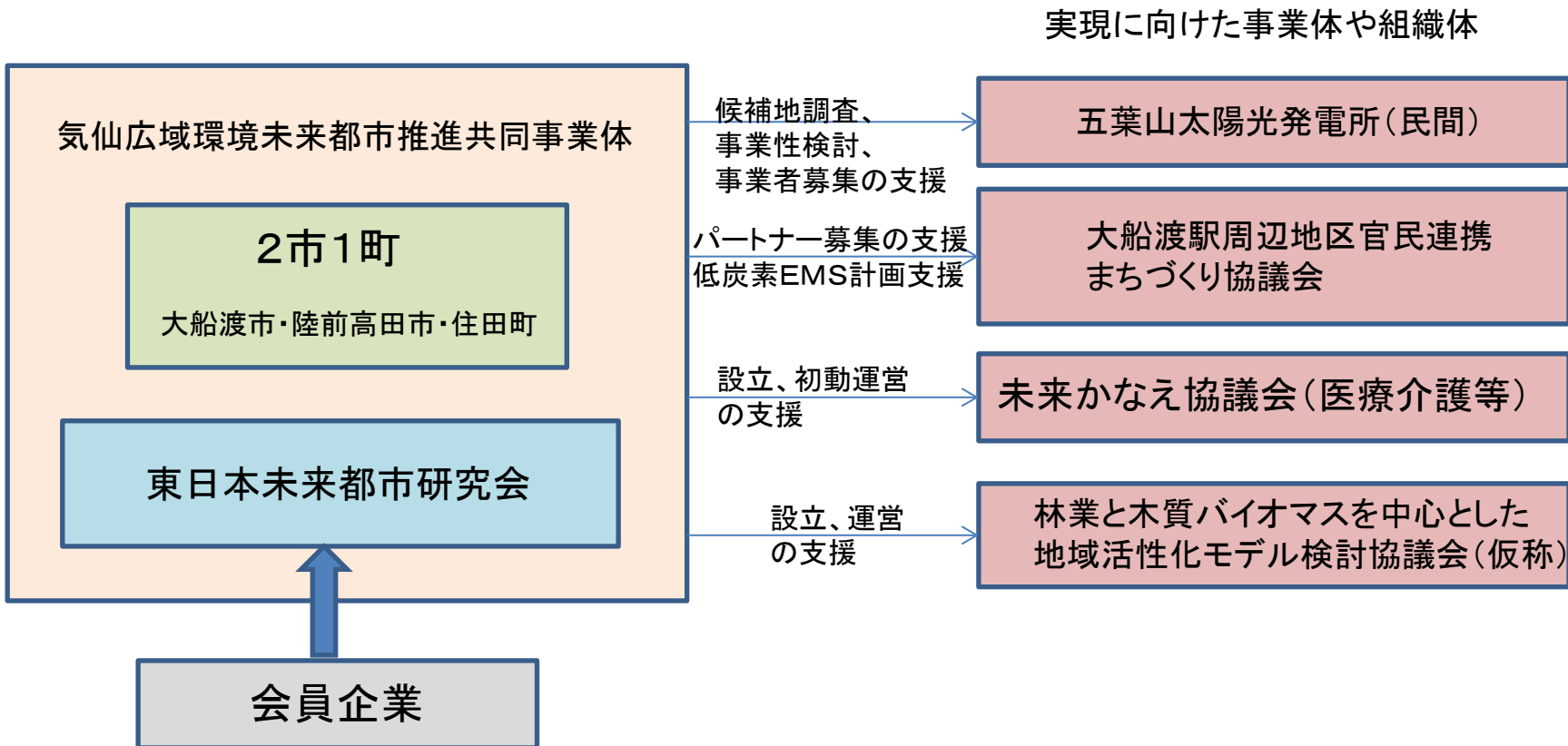


# 東日本未来都市研究会の役割の再確認



東日本未来都市研究会は2市1町と密接に連携し、会員企業の協力を得ながら、気仙広域環境未来都市を実現するための様々なテーマ(次ページ)に対して、アドバイス、調査検討・FS・事業性検討などのコンサルテーション、具体的な推進組織の組成、民間事業者の選定支援などを行っている。

平成23年からのこのような活動の結果、平成26年現在、1つの民間事業、1つの官民連携事業、二つの協議会活動が行われている。今後も新たな事業が始められると思われる。

尚、平成23年の開始当初、蓄電池製造工場の誘致をテーマの一つとしたが、立地の観点では、当地はむしろバイオマス発電事業などの方が実現可能性が高いという調査検討結果がえられているので、上記の協議会設立によって、実現に近づけようとしている。

# 研究会がアドバイス・コンサルテーション・事業化支援を行うテーマ

## 再生可能エネルギー

- ・再生可能エネルギー発電・熱供給事業の検討
- ・系統電力と再生可能エネルギーのハイブリッド・エネルギーシステムの構築
- ・再生可能エネルギー関連産業の振興

## コンパクトシティ整備

- ・低炭素コンパクトシティの整備
- ・にぎわいのある高齢者にも優しい街づくり
- ・自然エネルギー活用型スマートグリッドの構築
- ・防災性の優れた街づくり

## 農業・林業・水産業の高度化支援

- ・農業、林業、水産加工業の高度化促進支援
- ・林業と木質バイオマス、木材加工業の循環による地域再生モデルの構築
- ・地場産品流通モデルの構築

## 木造環境性能住宅団地モデル開発

- ・気仙環境共生型木造復興住宅仕様の作成
- ・住宅供給システムの構築

## 医療・介護・保健・福祉連携モデル創出

- ・地域包括ケアの視点からのまちづくりと世代循環型拠点の計画支援

# 平成26年度からの東日本未来都市研究会の活動

1. 気仙広域環境未来都市を実現するために、2市1町に対するアドバイス、コンサルテーション、事業化支援などを継続して行う。
2. 2市1町とともに協議会などの設立・運営の支援を継続する。
3. 新しいプロジェクトの企画・立案などを行う。
4. 研究会全体MTGによって、現地情報、新プロジェクト情報を共有するとともに、議論などにより新しいプロジェクトを追求する。

## 全体MTG日程

原則、偶数月の第2金曜日 14時30分～16時30分とする。

平成26年 12月12日(金) 14時30分～16時30分  
・活動方針の確認  
・林業再生・バイオマスによる地方創成プロジェクト

平成27年 2月13日(金) 14時30分～16時30分